

こんにちは、リスさんクラブです

— 幼児と母親の交通安全クラブ — その2



— どんないことをしているの？

このクラブは、各クラブとも毎月1回の集合訓練を近くの公会堂や、神社などで行っています。

この訓練では、リーダー、サブリーダーを中心に、幼児が安全に横断するために必要な、三本指の約束と安全体操を行います。（これは市内全クラブで統一されています）

— 独自の活動は

各クラブ又は地区の連合会ごとに交通事故防止に関係する内容のゲームを考案し、敏しょう性、判断力など、安全に行動できる能力を養っています。



— 日常生活でも訓練

母親は、クラブで習ったことを日常生活の中で更に訓練してやるように心がけています。

買物に行く道すがら、実際の道路で教え、それを習慣づけるのです。おかあさん自身が、模範とならなければならないクラブなので、おかあさんたちが一体となって協力しています。



空き地の枯草について

〔こえ〕 私の家の近くにある空き地ですが、草が枯れはじめています。これからは、火災の多いシーズンになりますので心配です。市内にはほかにも同じような場所があると思いますので、刈り取るよう注意を呼びかけてください。（岩松 Yさん）

〔こたえ〕 空き地の枯草処理については、毎年火災予防条例に基づき、空き地の枯草調査を実施し、空き地の所有者に刈り取りなどの火災予防上必要な措置を行うよう指導しております。また、刈り取り実施後には消防署に連絡をさせ、連絡後は追跡調査を行っておりますが、市内全域にわたって空き地（荒地）が非常に多く、地域によっては調査もれの所もありますので、そのつど気付かれた方々から連絡をいただき、調査指導を行っています。（消防署）

グループ訪問

13

うたう楽しさを

富士南婦人会

コーラス・グループ「オレンジの会」

“雪の降るまちを 雪の降るまちを 思い出だけが通りすぎて……”
美しい歌声がひびきわたってくる
ここ富士南公民館では、毎週水曜日、午前10時から午前11時30分までお母さんたちのコーラス・グループ「オレンジの会」が合唱練習をしています。

オレンジの会は、「お母さんたちにも歌声を」と富士南婦人会が中心となり、昭和50年5月に創立。

会員数は30人。

年齢は30歳から50歳まで。

発表の場は、5月のママさんコーラス大会と12月の婦人祭の2回。



発表会が近づくと、家でテープレコーダーを聞きながら練習すること。

指導者は、大学で音楽を専攻して

きた松島順子さん。

リーダーの佐野明美さん(44歳)は、「県の合唱祭や大きな大会にも出場したいです」と張切っていました。